



楳木沙弥郎 (ゆのき さみろう)

1922年、東京に生まれる。国語会会員。

女子美術大学名誉教授。

楳木家は倉敷市の旧家で、祖父・五郎は実業家・文人画家。父・久太は太平洋戦争で没落した洋画家という芸術一家に育つ。東京帝国大学（現東京大学）文学部美学・美術史料に入学するも一年足らずで

学徒動向。戦後、倉敷の大原美術館に勤め、そこで、柳宗悦の民芸運動と出会い、染色工芸家・芦沢鈺介に師事し、染色家の道を志します。日本における型染の第一人者として、いまなお創作を続け、数多くの個展やグループ展で作品を発表しています。楳木では、94年、型染の絵本『魔法の言葉』を出版し、木城えほんの傑作賞展覧会を題材にした『つきよのおんがくかい』（99年）、村山道土の文庫を立休で表現した『トコとダーダーとキキ』（04年）など多数。

2014年10月、ヨーロッパ最大の西洋美術コレクションを誇る「フランス国立ギメ美術館」に作品80点を収蔵。ジャンルを超えた自由な形の表現に、現代アートとして称賛されました。最近では、12メートルにおよぶ絵巻『楳木沙弥郎の無類図画』（19年）を制作、その新しいことに挑戦する創作意欲は尽きません。

今回、木城えほんの傑作では、楳木さんの最新の型染の作品を展示いたします。

布と自然とが一体となる、野外展示もあります。

(土日、祭日、時間をきめて展示されます)

木城えほんの郷

〒834-0104 宮崎県児湯郡木城町石河内 475

TEL 0983-39-1141 FAX 0983-39-1188



木城えほんの郷

大人 500 円・小学生 300 円